

宮笠(一之宮地域)

知恵と歴史
蓄積されてきた
木の文化



高山祭の屋台(高山地域)



有道しゃくし(久々野地域)

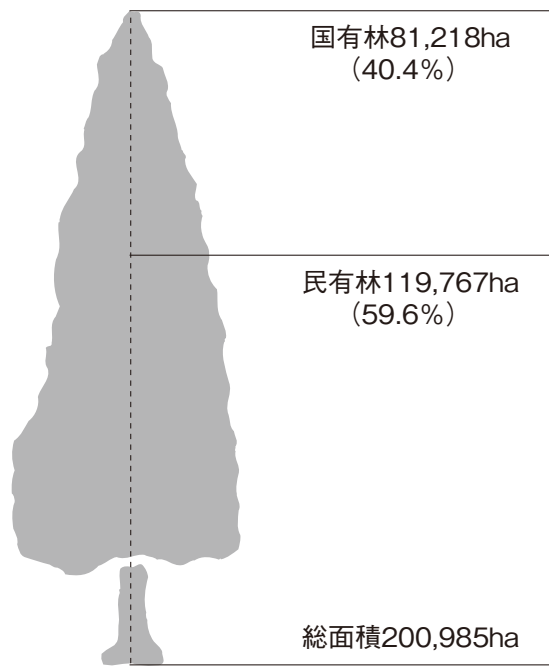


飛驒春慶(高山地域)



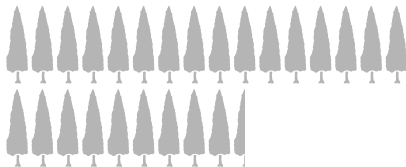
一位一刀彫(高山地域)

■高山市の森林面積 (ha)

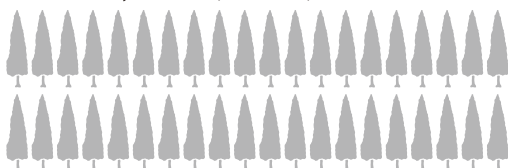


■高山市の民有林種別面積 (ha)

●人工林45,064ha(37.6%)



●天然林70,599ha(59.0%)



●無立木地ほか4,104ha(3.4%)



と共生してきたからと言っても過言ではないでしょう。奈良、平安時代に、都の造営にあたった「飛驒匠(ひだのたくみ)」は、あまりにも有名です。「かにかくに物は思わじ飛驒びとの打つ墨縄のただ一道に」万葉集に詠まれるこの和歌は、高い建築技術を持ち、ひたむきに都の寺院や宮殿を造った匠たちの姿をほうふつとさせます。こうした私たちの暮らしに深く息づく木の文化とその歴史は、それを支える森との長い関わりと、先達のためみない努力によって今に引き継がれてきたのです。

日本一広大な
高山市の森林

私たちの国は、国土の3分の2が森林に覆われている世界有数の森林国です。その中にあって、周囲を山々に囲まれた高山市は、20万985人という日本一広大な森林を有しており、森林率は実に92.3%に及びます。高山市の森林面積は、香川県や大阪府より広く、森林面積が県の面積より広いという全国で唯一の自治体です。大正時代から豊かな森林資源を活用して発達してきた木工・家具産業は、今では国内でも有数の産地と

恵み与える
緑の社会資本

なっています。森林は、木材などの建築資材をはじめ、きのこや山菜の山の幸などを与えてくれます。また、私たちのみならず昆虫や動植物の生育の場としてもなくてはならない存在です。私たちが普段何気なく飲んでいる水も、森林からの贈り物です。山に落ちた雨は、木々を伝い森林を縫って豊かな流れとなって海へと下つていきます。